

令和元年 5月9日

言葉だよりNo.2 (第369号)

## いじめゼロにするには

一年生が入学して一ヶ月が経ち、少しずつなれてきている頃だと思います。今年は19名の一年生が入学し、全校で69名となりました。ところでみなさんはニュースを見ますか？毎日が忙しくて見る時間がなく、見ていない人もいるかだと思います。今、私が気になっているニュースは、いじめ問題です。いじめが原因で生徒が命を落としたり、学校へ登校することができなくなるなっている問題です。いじめは絶対にあってはならない行為です。いじめがおきてしまう原因は、自分の不満を相手にぶつけるためにやってしまうのだと思います。差別もこれに似た行為だと思います。また、障がい者への差別がなくなっていないことは、重大な問題だと思います。障がいを持っている人は、望んで障がいを持って生まれたわけではありません。まだおなかの中にいるときに、大きくなれずに、障がいを持って生まれてくることや、脳へ行き渡る酸素が少なく、発育が遅れてしまうこともあります。

そのほか、私が気になる人権問題としては、外国人の雇用の問題があります。日本には独自の文化があるように、外国にもいろいろな文化があります。ですがそれを受け入れてくれない会社の状況が日本にはまだあります。このような状況のなかで、外国人労働者に関するいろいろな差別事件が起こっています。私はこの差別についても絶対に無くしていくべきだと思います。

ところでみなさんは、三瓶高校の人権宣言を知っていますか。二年生や三年生は知っている人も多いと思いますが、一年生の皆さんは初めて聞くことだと思います。三瓶高校にちなんで、「み・か・め」の頭文字から始まります。

「み」 認め合い、支え合える仲間作りをします。

「か」 輝く命、一人一人を大切にします。

「め」 目で見て、心で感じ、行動する力を身につけます。

この三瓶高校人権宣言を、全校生徒のみなさんに覚えてもらいたいです。そして、それだけでなく、他校の生徒へも伝えてもらいたい、いじめや差別がゼロになるように、まずは三瓶高校の生徒のみなさん一人ひとりから行動し、良い仲間作りをしてほしいと思います。

この私の話を聞いて、今日からできることを実行してもらいたいと思います。人権への関心を持ち、「差別は絶対に許さない」という気持ちを大切にしてください。